



脳神経内科 専門医教育プログラム

国内トップクラスにアクティブな脳神経内科！

- ✓ **県内1, 2を争う入院患者数**で、神経変性疾患から脳卒中、内科系疾患まで幅広く経験できる！！
- ✓ 脳神経外科、放射線科とも連携しながら、**大学病院に匹敵するハイレベルな治療**を実施
- ✓ 脳梗塞の診療に注力！**脳神経外科と合同のストロークチーム**が血栓回収やt-PAといった超急性期の治療を実施
- ✓ ロボットスーツHALを用いたリハビリを神経難病だけでなく**脳卒中治療**にも取り入れ**全国トップクラスの実績**
- ✓ 外科と連携したカンファレンスやマンツーマン指導など**充実した教育体制**

難病疾患、コモンディジーズと幅広い分野で愛知県トップクラスの症例数

成長性

10年間でゼロから愛知県No1（全国有数）の症例数

脳卒中

653件→728件

愛知県 2位→**1**位 全国 16位 断らない救急 & 院内連携パーキンソン病
(手術なし)

101件→122件

愛知県 3位→**1**位 全国 10位 外来対応 & 腰HAL治療発明

運動ニューロン疾患

22件→79件

愛知県 1位→**1**位 全国 4位 診断能力 & 医療用HAL運用

※DPC対象病院・準備病院・出来高算定病院の統計（2022年4月～2023年3月退院患者）

安定性

- 神経内科としては異例なチームワーク
- 10年間実質離職ゼロ（神内正式所属決定後の11名）

先進性

- 医療用HAL早期導入（全国トップレベルの難病患者数）
- 腰HAL治療発明（短期機能回復法の確立）
- 1週間心電図モニタ（AF検出数大幅アップ）
- 臨床研究参加（ガイドライン改定につながったCSPS.com研究で全国一の貢献）
- 新規診療サービス（頭痛・認知症のone day 診療，頭部MRIナイター枠）
- 他の神経内科では経験できない診療（血管内治療，ICM埋め込み，HAL資格）

全国トップクラスで幅広い症例を経験できる環境



入院症例数

1166人

(延べ入院数**13,395**人)



外来数

25,770人

(初診**3,517**人)



HALのべ実施数

819例



難病外来指導算
定患者

4156例

当科は脳神経内科として全国トップクラスの入院患者数を誇り、神経変性疾患から脳卒中、内科系疾患に至るまで幅広く経験することができます。週2回の科内カンファ＆勉強会に加えて、脳神経外科とも週2回の合同カンファ＆勉強会を行っており、さらに放射線科との画像カンファも定期開催するなど、他科と連携しながら大学病院に匹敵するハイレベルな診療を行っています。習熟が難しい針筋電図・神経伝導検査といった生理検査やボトックス治療も研修を通じて習得することができます。

希望するサブスペシャリティ領域を選択して集中的に学べる内科研修（基幹）プログラム

5
年次

後期研修医3年目（卒後5年目）：連携施設	
連携研修施設に1年間研修を行います※連携先の病院は自由に選択	

4
年次

後期研修医2年目（卒後4年目）：一宮西病院	
卒後4年目は、基幹施設で研修を行い、志望する分野にて研修を行います。 また内科サブスペシャリティ領域の専門医研修を始めることが可能	

3
年次

後期研修医1年目（卒後3年目）：一宮西病院	
選択したサブスペシャリティを半年間ローテ	他科のローテor主科中心のローテを自由選択

がん研有明病院 / 愛知医科大学 / 飯塚病院 / 浦添総合病院 / 海老名総合病院 / 倉敷中央病院 / 聖マリア病院 / 聖隷浜松病院
千葉西総合病院 / 東京医療センター

※連携施設にて1年間研修



※専門医取得後も、希望に合わせてキャリアセンターが進路をサポートします

脳神経内科医としての到達目標

■ 脳神経内科の疾患を4つの領域に分類し、それぞれの半年ごとの目標を設定

※ 1 変性疾患：パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS、球脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー、認知症など

※ 2 神経免疫疾患：ギランバレー症候群、脊髄炎、多発性硬化症、血管炎、筋炎など

	脳卒中	変性疾患※1	神経免疫疾患※2	てんかん
卒後年数	50例 / 半年	30例 / 半年	10例 / 半年	15例 / 半年
3年 前期	脳卒中において出現する症状や検査所見を把握し初期診療を完璧にこなすことができる	パーキンソン病の基本的な病態や症状を把握する	緊急性の高い神経免疫疾患(ギランバレー症候群、自己免疫性脳炎、重症筋無力症)の基本的な病態や症状を把握する	てんかん(特に痙攣発作)の初期対応を完璧に行うことができる
3年 後期	脳卒中の病型を把握し、基本的な病型においては治療を完結することができる	パーキンソン病以外の変性疾患の本格的な病態や症状を把握する	緊急性は高くない神経免疫疾患(多発性硬化症、CIDP、筋炎、血管炎)の基本的な病態や症状を把握する	てんかん重積の初期対応を完璧に行うことができる
4年 前期	t-PAの適応を完全に把握し適応患者を選定できる。急性期後の外科治療の適応を判断できる	典型的なパーキンソン病の診断を単独で行うことができる。パーキンソン病におけるL-dopa製剤の正しい使用ができる	疾患ごとの鑑別を考え、必要となる検査の組み立てを独力で行えるようになる	抗てんかん薬の特性を理解し、正しく処方できる
4年 後期	急性期外科的治療の適応を判断できる。特殊な脳卒中の病型に関しても把握し診断できる	パーキンソン病以外典型的な変性疾患の診断ができる。パーキンソン病におけるL-dopa製剤以外の製剤の正しい使用ができる	行った検査結果を正しく判断し、典型的な神経免疫疾患を診断できる。ステロイドの基本的使用方法を理解し実践できる	脳波の判読を正しく行い、典型的なてんかんを診断できる

5年次の1年間、外部病院にて研修実施

当院の脳神経内科は人員数のみでなく、スタッフの質も急速に強化

医師人数

医師（常勤） 8名 : 医師（非常勤） 2名

指導医・専門医・認定医

日本神経内科専門医 4名

日本神経内科指導医 3名

日本内科学会内科専門医/認定医 6名

日本内科学会指導医 3名

日本脳卒中学会専門医 3名

日本脳卒中学会指導医 2名

様々なスペシャリストが集う脳神経内科の人員体制

以下の指導分野において、専門の指導医が後期研修医に対し集中的に指導を行います



山口 啓二
脳神経内科部長
副院長

卒年：H4
出身大学：慶應義塾大学
得意分野：神経内科全般

資格

- 日本内科学会 認定医・専門医・指導医
- 日本神経学会 専門医・指導医
- 日本脳神経内視鏡学会 専門医・指導医
- 日本頭痛学会 専門医・指導医・代議員
- 日本脳卒中学会 専門医・指導医・評議員
- 日本脳循環代謝学会 評議員
- 藤田医科大学 医学部脚韻教授
- 臨床研修指導医

指導分野

脳卒中・頭痛・神経診断
パーキンソン病

指導体制



金井 雅裕
脳神経内科副部長 / 脳卒中センター副センター

卒年：H21
出身大学：三重大学
得意分野：神経変性疾患

指導分野：脳卒中・神経変性疾患



岡田 弘明
脳神経内科医長

卒年：H22
出身大学：山形大学
得意分野：脳卒中、頭痛
認知症、パーキンソン病

指導分野：脳卒中・頭痛・認知症
パーキンソン病



栗田 尚英
脳神経内科医長

卒年：H22
出身大学：杏林大学
得意分野：神経内科全般

指導分野：脳卒中・神経内科全般

スタッフ



中井 良幸
医師

卒年：H27
出身大学：三重大学
得意分野：偏頭痛



喜多 貴信
医師

卒年：H29
出身大学：九州大学
得意分野：鍼灸を用いた
頭痛治療

専攻医



佐々木 勇紀

卒年：R4
出身大学：山口大学



谷澤 優河

卒年：R4
出身大学：東北大学

複数主治医制とチーム制の融合

指導医

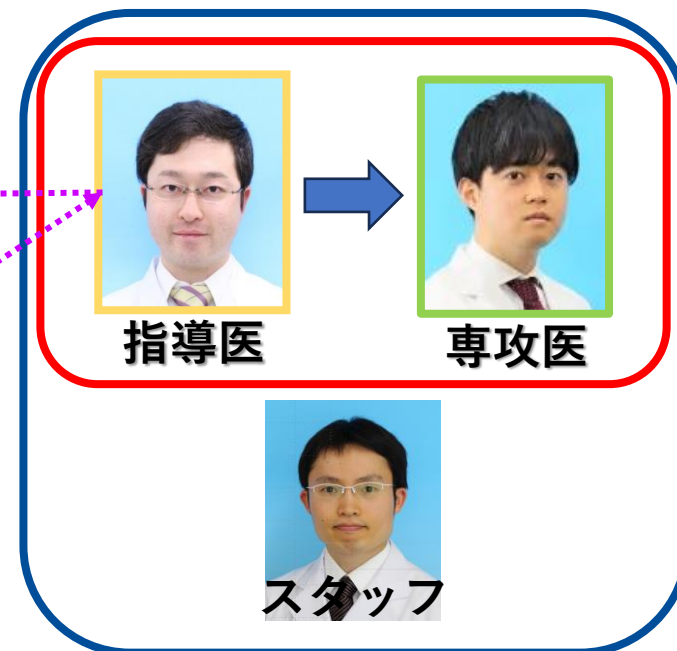
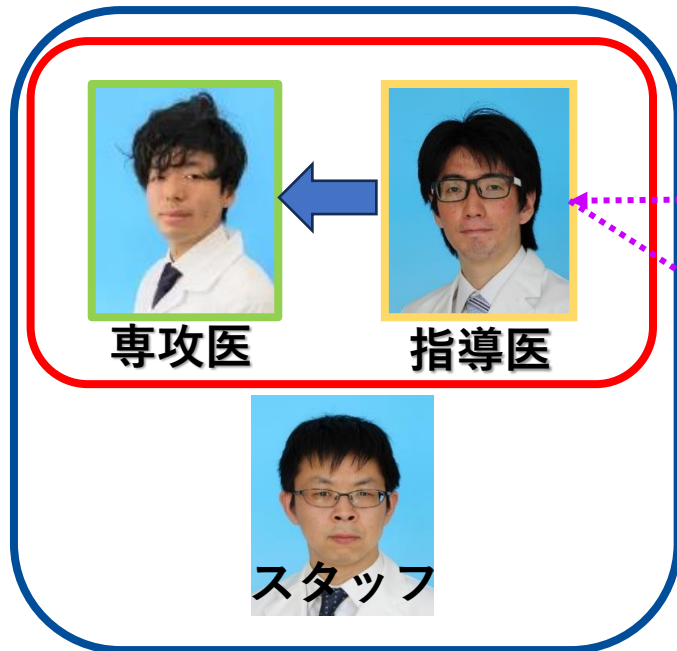
神経内科指導医を有する
神経内科専門医（4名）



指導医
統括指導

Aチーム

Bチーム



半年に一度ローテ



複数主治医
・ 主治医
・ 担当医

複数主治医
・ 主治医
・ 担当医

内科プログラムの連携先

一宮西病院の内科専門医研修プログラムでは、全国の有名な病院と提携し、様々な専門医を取得することができます



脳神経内科の連携先

頭痛、認知症、脳卒中など、それぞれの専門分野に特化した一流の病院と連携し、希望する分野を選択できる

京都府 **神経内科として国内最大規模**

宇多野病院

病床：380床
入院：345名/日
外来：185名/日



愛知県 **国内トップクラスの国立病院**

名古屋大学医学部附属病院

病床：1,080床
入院：792名/日
外来：2,115名/日



東京都 **国内トップの神経難病センター**

国立精神・神経医療研究センター

病床：486床
入院：413名/日
外来：584名/日



大阪府 **国内トップの脳卒中センター**

国立循環器病研究センター

病床：550床
入院：432名/日
外来：448名/日



東京都 **トップクラスの私立病院**

慶應義塾大学病院

病床：950床
入院：777名/日
外来：2088名/日



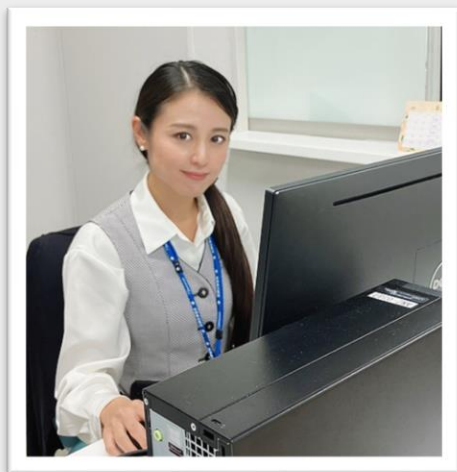
一宮西病院

充実したサポート体制！

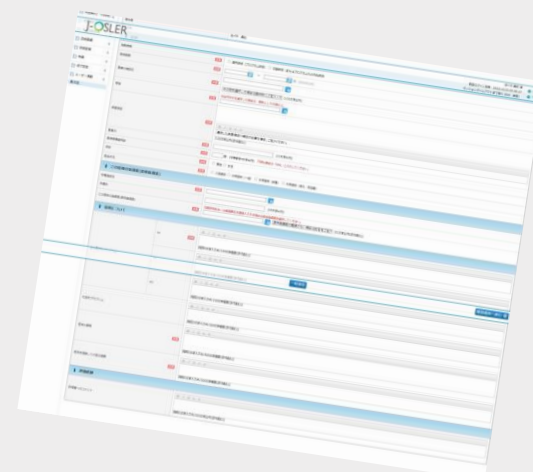
内科専攻医はJ-OSLERにおける症例登録・病歴要約の提出を義務付けられていますが、当院では**症例登録の作業はアシスタントによるサポート**を受けることができます。日々の忙しい業務の中でもスムーズに症例登録を済ませ、最も労力を使う**病歴要約作成に専念**することができるため、大変助かっています。他科のローテーション制度と併せて、**最短で内科専門医を取るためのシステム**が整っています。

また、外来においても**MAスタッフが投薬やカルテ記載など様々な業務をサポート**をしていただけるので、医師業務に専念することができ効率的に多くの症例経験を積めます！

内科専攻医 佐々木 勇紀



私がしっかりサポートします！



世界最高峰の脳神経内科臨床医の集団を目指す

当科では臨床で一人でも多くの人を良くしたいという思いの医師を求めています。より多くの患者さんに少しでも良い医療を提供することに価値を置いており、多くの患者さんの診療を通じて学習し、臨床力を高め、より大きな社会貢献ができる高い臨床力をもつ脳神経内科医の養成に力を入れております。また、医学、医療の発展に貢献できるよう学術活動も重視しており、症例報告のみならず前向きな臨床研究にも力をいれております。一人の医師にできることは限られております。より大きな貢献をするために、また、主治医としての責任を果たしながらもプライベートな時間を確保するためにも、チームの輪を広げ、責任あるチーム医療を実践する必要があると考えております。従って、一緒に働く仲間を大切にし、それぞれの人生の価値観を尊重し、共通の目的と公平なルールの基づき働きやすく生産性の高い職場をつくり、各人が最大限のパフォーマンスを発揮することで、公私ともに充実した人生が送れるよう環境整備に努めております。世界最高峰の脳神経内科臨床医の集団を目指しておりますので、我こそはと思う熱い先生は是非ご連絡ください。



診療だけでなく研究などのアカデミックな要素にも注力

平成29年4月から一宮西病院・脳神経内科に勤務しております金井雅裕です。以前は国立精神・神経医療研究センター病院でレジデントとして勤務もしておりました。当科では数多くの脳卒中患者様のみならず、神経難病の患者様も多く診療している事、診療だけでなく研究などのアカデミックな要素にも力が入れている事に感銘を受け入職しました。脳卒中に対してはReveal Linqなどの最新の機器をいち早く導入し脳梗塞の原因究明に努めている事や脳神経外科の先生と協力して診療し希望があれば血管内治療にも参加する事が特徴的です。また、神経難病に対してはHALを使用して可能な限り能力の維持向上を目指して治療を行っており、そのデータの解析し研究にも力を入れています。ここまで書きますと仕事しかしていないように見えるかもしれませんが、部長の山口はワークバランスを非常に大事にしており、具体的には夏季休暇は5日(前後の土日を含めると9日)間しっかり休めたり、当直明けは午前までで帰宅可能であったりと力を抜くべきところでは抜けるようになっています。メリハリの利いた環境で臨床能力だけでなく、アカデミックにも専念できる環境ですので、学ぶ意欲の高い方は是非挑戦してみてください。



脳神経外科と連携し診療・症例検討を実施 患者さんからも喜ばれる環境 リハビリも充実し、

一宮西病院・神経内科の岡田弘明です。平成22年医学部卒業です。平成27年4月より一宮西病院に勤務しております。部長の山口の方針である「チームプレーを大切にして患者さんに最高の医療を提供する」、「効率よく業務を行い、自己研鑽や家族との時間も大切にする」に感銘を受け、当院に勤務することを決めました。症例も豊富で神経内科医として非常にやりがいがあります。脳卒中においては脳神経外科の先生方と深く連携しながら診療・症例検討ができとても勉強になります。また、リハビリスタッフが大勢おり、神経変性疾患の患者さんの治療兼リハビリ入院も可能で、患者さんからもとても喜ばれております。





■内科科専攻医1年目 谷澤 優河先生

脳神経内科チームに参加することができ、大変光栄に思っております。この科は症例数が非常に多く、日々新しいことを学べる環境が整っています。また、幅広い疾患に対応しており、脳卒中や神経変性疾患などの治療を通じて、患者様一人ひとりに適したケアを提供できることに大きなやりがいを感じています。

さらに、当科は脳外科とも緊密に連携しているため、包括的な治療アプローチが可能です。また、専門性の異なる先生方が揃っており、多角的な視点からの意見交換ができることは大変貴重で、成長の機会が広がっています。今後とも、患者様の健康を第一に考えながら、学びを深め、貢献していきたいと思っております。

■内科専攻医1年目 佐々木 勇紀先生

脳神経内科に所属してはや半年が経過しましたが、strokeや頭痛といった市中病院ではcommonな疾患から希少疾患まで幅広く経験できているのは症例の多い当院の素晴らしいメリットだと感じています。

様々な大学医局やNCNP病院といった、異なるバックグラウンドで経験を積んでこられた先生方からフィードバックをいただける環境は、診療スキルを高めていくうえで大変貴重だと思います。恵まれた環境で研修させていただいてる分、地域医療に貢献できるようこれからも努力してまいります。



一宮西病院で取得できる脳神経内科関連の専門医資格一覧

専門医資格名

必須で取得する資格

総合内科専門医

J-Oslerなど利用。最短6年目に取得可能。

神経内科専門医

現状当院で3年研修すれば、7年目に取得可能

脳卒中専門医

内科専門医があれば、条件整えれば7年目で取得可能

頭痛専門医

条件整えば8年目から取得可能

脳神経血管内治療専門医

現状当院は教育施設ではないので、取得不可能、他院での研修が必須。

一宮市で住む、育てる、遊ぶ

研修環境面、生活環境面のどちらもが整い、色んな症例を経験し、有意義な研修を行いたいけど、自分の時間や家族の時間も大切にしたいと考える人には、ピッタリの環境です



名古屋まで10分
一宮駅から1本で名古屋へ到着



セントレア空港直通
学会にも参加しやすい



住みやすい街8位
138タワーでは毎年季節の花畑があり、公園も充実



医学部進学有名高校も多数
学カレベルの高い地域



BBQ場日本一（岐阜県）
隣町の岐阜県ではBBQのメッカ
BBQ場が数多くあります



パワースポットも充実
七夕祭りやチンドン祭りなどの
イベントも多く、真清田神社では
お祭も多数



モーニング発祥の地
市内に700店以上の数のお店あり！
コーヒーにカレーがついてくる



買い物が充実
コンビニ…138店舗
スーパーマーケット…36店舗
ドラッグストア…51店舗
大型ショッピングモール…5店舗